

IoT実装関連の動向等

【回答自治体：福岡市】

事業名	
実施期間	
概要	<p>○福岡市IoTコンソーシアム内の各ワーキンググループ 令和元年度（平成31年度）は、コンソーシアム会員が企画・運営する下記4WGが活動中（事務局はWG運営を支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「事業共創ものづくりWG」 ②「IoT検定・IoTリテラシーWG」 ③「医療働き方改革WG」 ④「ドローン利活用WG」 <p>OLPWA（LoRaWAN）通信網 平成29年度から「Fukuoka City LoRaWAN(TM)」として市内に実証実験フィールドの提供を開始。 自治体が整備するエリアとしては日本最大規模で、実証実験で利用する方は無償で利用でき、令和元年度も継続運営している。 前回会合以降にプレスリリースしてきた実証実験事例は下記のようなものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動公園における暑さ指数の可視化の実証（熱中症対策） <p>【参考】前回会合までにプレスリリースした実証実験事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池の水位モニタリング ・イベント時の位置情報 ・子どもの通塾見守り ・スマート水道メーター ・保育所でのIoT活用 ・天神市街での人流の可視化の実証 ・河川の水位モニタリング ・福岡マラソン2018での実証

○福岡市実証実験フルサポート事業

平成 28 年度から、AI やIoT 等の先端技術を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募し、優秀なプロジェクトの市内での実証実験を全面的にサポートしている。採択件数：48 件（R1.12 月末時点）

〈前回会合以降の主な実証実験プロジェクト〉

- ・アグリテック
- ・AI 多言語音声翻訳システム

【参考】〈前回会合までの主な実証実験プロジェクト〉

- ・キャッシュレス
- ・スポーツテック
- ・AI 引越し・証明案内サービス
- ・シェア型電動キックボード
- ・単体でLTE 通信するIoT 電子錠
- ・体調変化を予兆するスマートウェア
- ・ビーコンを活用した見守りサービス
- ・生体センサー遠隔モニタリング
- ・尿化学分析による病気予兆モニタリング

（実証実験のその後）

- ・H31.4.1～：福岡市公共施設へのキャッシュレス決済導入。R1.12 月末時点で、27 窓口・41 施設へ導入済。
- ・R1.10～：ビーコンを活用した見守りサービスを3 年以内に全校区へ本格導入（政令市初）

OFukuoka AI Community

福岡市内企業等のAI活用による、労働生産性向上や新サービス創出等を図ることを目的として、平成29年12月5日に設立。会員数：現在約200社（R1.12月末時点）

AIサービス・活用事例を紹介するセミナー、勉強会、実証実験支援、新サービスの広報支援を実施し、AI活用推進に取り組んでいる。

平成30年度において、福岡市が募集していた「行政サービス効率化を目的とした実証実験の提案」を当該コミュニティのイベントでも告知し、コミュニティ会員企業が応募。

以下2件の実証実験を行った。

- ・H30.9.19～H31.4.30：AIチャットボットを活用したLINEでの粗大ごみ収集受付
- ・H30.10.1～R1.12.31：国民健康保険レセプト点検自動化実証実験

令和元年度においても引き続き活動を継続し、2ヶ月に1回程度のペースで、セミナーやハンズオンなどを開催。

（実証実験のその後）

・AIチャットボットを活用したLINEでの粗大ごみ収集受付は令和元年5月に実装（本格導入）。令和元年7月より、LINEで受付した後に、そのまま粗大ごみ処理手数料をオンライン決済（LINE Pay）できる実証実験を中央区で行っている（令和2年3月31日まで（予定））。

・国民健康保険レセプト点検自動化実証実験については、AIの学習傾向を長期的に把握するため、期間を延長したもの。

（当初：H30.10月～H31.6月⇒R1.12月まで延長）

市政記者各位

令和元年 10 月 24 日

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業 採択プロジェクト授賞式の開催 ～「アグリテック」「AI 多言語音声翻訳システム」など～

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、審査の結果「アグリテック」、「AI 多言語音声翻訳システム」、「2019 年度第 1 期」の実証実験プロジェクト 11 件の採択を決定し、下記のとおり授賞式を行います。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、奮って取材賜りますようお願い申し上げます。

1.日時

令和元年 10 月 28 日 (月) 16 時 00 分～17 時 00 分

2.場所

福岡市スタートアップカフェ (中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 1F)

3.出席者

- ・福岡市長 高島 宗一郎
- ・福岡地域戦略推進協議会 事務局長 石丸 修平 (いしまる・しゅうへい)
- ・採択プロジェクト実施事業者 代表

4.内容 (予定)

- ・市長挨拶
- ・市長から採択者へパネル授与／写真撮影
- ・フォトセッション (全員)
- ・採択プロジェクト紹介 (実施主体によるプレゼンテーション・各社 2 分)

5.採択プロジェクト (別紙参照)

6.問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

担当：藤本、執行

電話：092-711-4879 (内線 1219)

採択プロジェクト実施主体とそのテーマ

【アグリテック】5件採択（応募9件）

データテクノロジー株式会社



次世代型統合環境制御機を活用したスマート農業と国土強靱化の融合

クラウドを活用して遠隔地からでもハウス内の各種設備機器の環境制御を行うことで生産性、利便性を向上。また、その際に計測したデータを気象ビッグデータとして蓄積し、ピンポイント災害予測システムに活用。

今回の実証実験では、データを活用した農業が実践される割合や、効率化により余暇・休暇の取得が増加した割合等を検証。

株式会社 HACCP ジャパン



細菌数の迅速検査によるブランド向上プロジェクト

低コストかつ短時間の細菌計測を行うことで、リスク回避だけでなく「安全性」によるブランディング、利益率向上を目指す。

今回の実証実験では、生産過程のどのプロセスで菌が発生しやすいかを検証。

株式会社ルートレック・ネットワークス



土壌環境の見える化と AI 制御による土耕イチゴのかん水施肥技術の確立

作物の生育に応じた灌水施肥を AI 制御により行う実証実験。遠隔地からスマートフォンでデータを閲覧し農家の経験と勘による調整も合わせて実施。

灌水施肥量の定量化、灌水施肥に係る労力 90%削減を目標に、検証を行う。

ディーピーティー株式会社



ハウス内環境測定制御装置導入による生産性向上

土壌センサーや日照センサー等を用いて複数の圃場で環境を計測し、暖房機器等の環境制御を行う。

管理工数の省力化や単位数量の増減、コストダウン効果を検証。

株式会社シェアグリ



シェアグリ

シェアグリ（農家さんの人手不足解消と関係人口創出プロジェクト）

短期間の農家とワーカーのマッチングサービス「シェアグリ」を用い、農家の人手不足解消を目的とした実証実験を行う。

短期採用のニーズや農繁期と閑散期の人材調整を、地域内外の人材活用により解消できるかを検証。

【AI 多言語音声翻訳システム】4 件採択（応募 5 件）

株式会社アドバンスト・メディア



多言語翻訳アナウンスサービス AmiVoice TransGuide を活用した窓口対応
多言語翻訳・アナウンスサービスの活用による、自治体窓口での実用性（操作性、スピード、正確性）、対応履歴データ活用の利便性等の検証。

凸版印刷株式会社



AI 多言語音声翻訳アプリを活用した窓口サービス向上のための実証実験

あらかじめ行政窓口向けの用語・会話を多数登録した音声翻訳システム（国産音声翻訳技術を採用）を活用し、外国人住民への対応における効果、効率、満足度を検証。

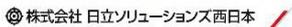
日本電気株式会社 九州支社



AI 多言語音声翻訳システム実証実験

国産音声翻訳技術を用いた翻訳サービスの有用性検証を行うとともに、対応履歴データによるレポートを用いて、課題を抽出。

株式会社日立ソリューションズ西日本



AI 多言語音声翻訳システム実証実験

国産音声翻訳技術を用いた翻訳サービスに、定型文翻訳機能や対応履歴データを活用したレポート機能を付加し、窓口対応時間の短縮効果やシステム導入の満足度を検証するとともに、業務上の課題・ニーズを抽出。

【2019 年度第 1 期】2 件採択（応募 7 件）

株式会社 tsumug



空室問題改善プロジェクト

マンションなどの空室に「TiNK」などスマートロックを設置し入退室を管理。ワークスペースや子どもが自由に遊べるスペースとして用いる、シェアスペースサービスの実証。

サービス登録希望率を検証するとともに、利用率向上のためにどのようなサービスや設備が必要かの検証を行う。

サウレテクノロジー株式会社



長距離型光無線通信を活用した 福岡城さくらまつり実証 PROJECT

光無線通信を活用した、屋外における大容量長距離通信の実証実験。

福岡城さくらまつりの実施時期に合わせ、約 250m離れた地点を光無線通信で結び、wifi スポット延伸、および大容量画像データの転送を同時に実現。

屋外での長期間常設における通信安定性確保についてデータ収集し検証する。

市政記者各位

令和元年 11 月 26 日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業 区役所等での『AI 多言語音声翻訳システム』実証実験開始!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、10月28日(月)に採択した「AI 多言語音声翻訳システム」について、11月27日(水)から、区役所等において実証実験を開始しますのでお知らせいたします。

また、報道機関向けデモンストレーション(下記3)を行いますので、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、奮って取材賜りますようお願い申し上げます。

1 事業者、実証場所

事業者	実証場所
株式会社アドバンスト・メディア	早良区役所
凸版印刷株式会社	博多区役所, 西区役所
日本電気株式会社九州支社	南区役所, 城南区役所
株式会社日立ソリューションズ西日本	東区役所, 中央区役所 福岡市総合図書館, 福岡市住宅供給公社 福岡市営地下鉄(天神駅, 博多駅, 福岡空港駅)

2 実証実験期間

令和元年 11 月 27 日(水) ~ 1 月 31 日(金)(予定) ※事業者との協議により延長は可能

3 報道機関向けデモンストレーションについて

実証実験用の端末を用いた窓口相談のデモを行います。

日時: 令和元年 11 月 27 日(水) 14 時 30 分 ~ (10 分程度)

場所: 中央区役所 1F 保険年金課窓口

※同日 14 時から中央区役所 1F で予定されている「マイナンバーカードなどによる新サービススタート」の取材対応が終わり次第、本件のデモを行うため、多少時間が前後する可能性があります。

問い合わせ先

福岡市総務企画局企画調整部

担当: 藤本、執行

電話: 092-711-4879 (内線 1219)

スマート行政を推進！

青少年施設・市営渡船も、キャッシュレス支払可能に！！

福岡市では、本年 4 月から、各区役所の市民課窓口、博物館や動植物園など、20 窓口・39 施設で QR コード決済サービスを導入しております。

この度、福岡市の青少年施設及び市営渡船待合所においても QR コード決済サービスを導入し、キャッシュレス支払可能な公共施設が **27 窓口・41 施設に拡大** します。

1 導入する窓口・施設

(1) 背振少年自然の家、海の中道青少年海の家（**2 施設**）

(2) 市営渡船の各待合所※の窓口（**7 窓口**）

※博多、姪浜、西戸崎、志賀島、玄界島、能古島、小呂島

※市営渡船各待合所は、窓口での支払いには QR コード決済サービスを利用できますが、自動券売機ではご利用できません。

2 導入開始日

令和元年 12 月 1 日（日）

3 導入するサービス

LINE Pay



4 今回追加される QR コード決済で支払える利用料等

導入する窓口・施設	QR コード決済で支払える利用料等
背振少年自然の家	施設利用料など
海の中道青少年海の家	施設利用料など
市営渡船の各待合所	運賃（普通券、回数券、定期券）など

※これまでに導入している窓口等も含めた 27 窓口・41 施設で支払える手数料等は【別表】を参照

問い合わせ先

福岡市総務企画局 ICT 戦略室 ICT 戦略課

担当：小玉、古長（こちょう） 電話：092-711-4356 ファクス：092-733-5582

地域とともにつくる見守りのネットワーク I o Tを活用して子どもの見守りを強化します

福岡市では、子どもの安全を確保し、安全で安心なまちづくりを推進するため、I o Tを活用した子どもの見守り事業に官民協働で取り組みます。

全市的な見守りシステムの導入は**政令指定都市初の取り組み**となります。

また、本事業では、保護者・学校・企業・地域が、固定基地局を設置したり、見守りアプリをダウンロードしたりすることで見守りに参加します。これにより、見守りのネットワークを構築し、社会全体で子どもの見守りを強化します。

1. 見守りシステム概要

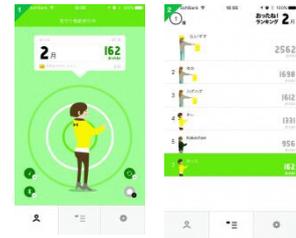
福岡市内の小学生を対象に見守り端末機（ビーコン端末機）を配付し、その端末機を携帯した児童が地域に設置された基地局、見守り人※の近くを通過するだけで位置情報が記録されます。（※見守りスマートフォンアプリをダウンロードした地域の方や企業など）



見守り端末機



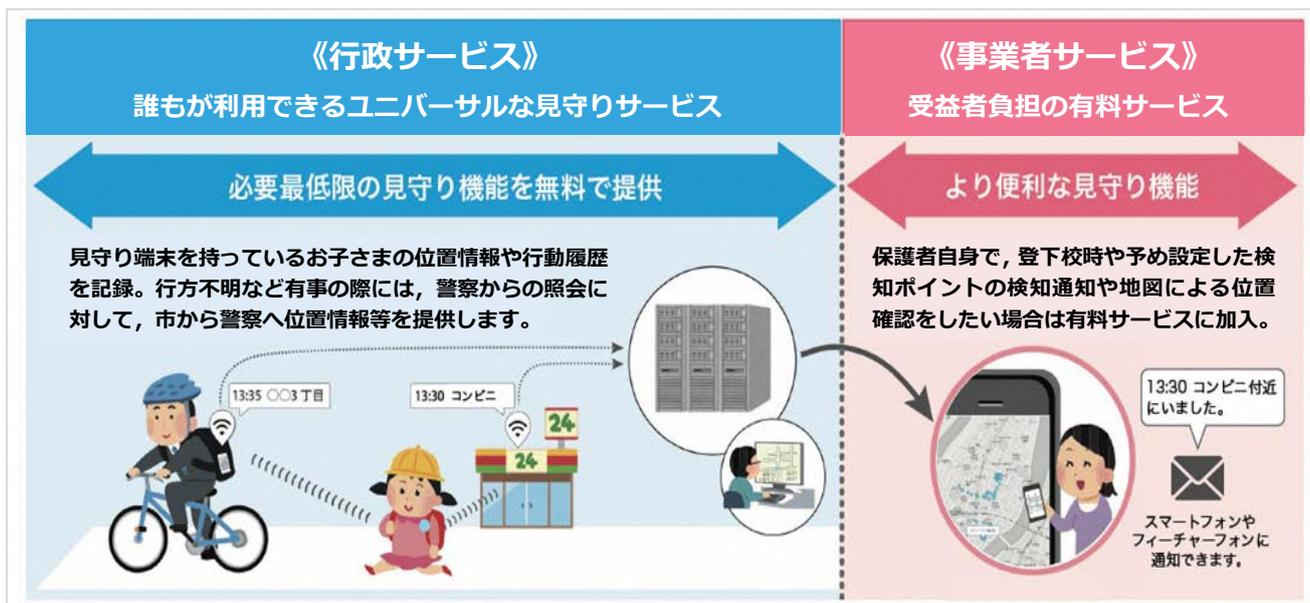
固定基地局



見守りアプリ



2. サービス内容



3. サービス開始時期

令和元年 10 月頃から校区毎に順次開始し、3 年以内に全校区で実施。

4. 協働事業候補者

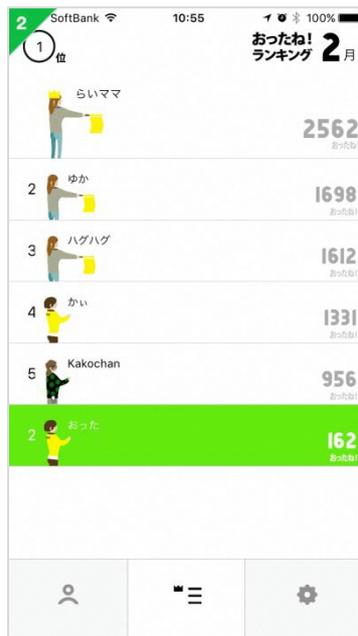
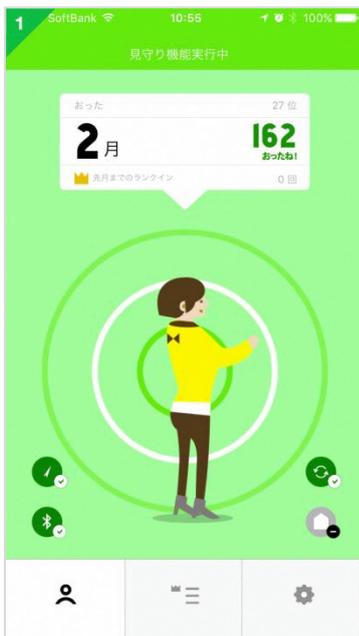
九州電力株式会社

5. 問い合わせ先

福岡市市民局生活安全部生活安全課 担当：島野，吉川
電話：092-711-4054（内線 1772）

(参考資料)

【見守りアプリの画面】



無料の専用アプリをダウンロードして、ニックネームを決めるだけで設定完了。児童が携帯している端末機を検知した回数を翌日反映します。

【有料サービスの画面】



希望する保護者へは事前に設定したポイントの通過時に通知を受け取ることができるほか、位置情報・行動履歴マップの閲覧も可能な有料サービスを実施します。

全国初

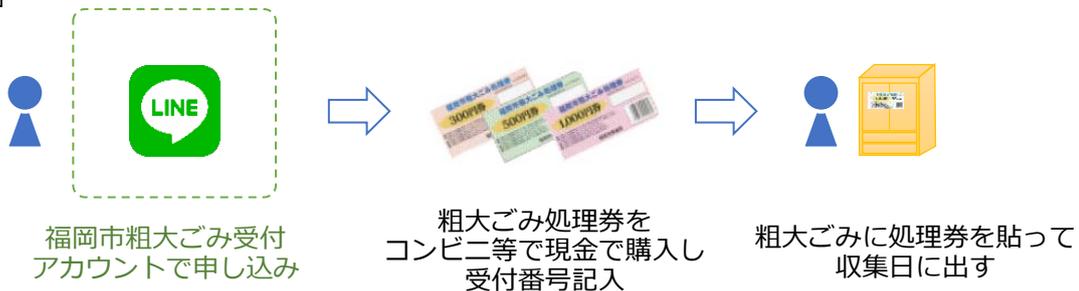
7月1日実証実験スタート！ 粗大ごみ処理手数料のオンライン(LINE Pay)支払

福岡市では、7月1日より粗大ごみ処理手数料をオンライン(LINE Pay)で支払うことができる実証実験を中央区で開始いたします。

LINEのアカウント上から『粗大ごみの収集申込み』及び『処理手数料の支払い』が完了する仕組みの導入は、全国の自治体で福岡市が初めての取り組みです。

【実施期間】令和元年7月1日(月)～令和2年3月31日(火) 予定

現在



実証実験

現在の方法に加えて、LINE Payによる支払いができるようになります。



【問合せ先】

- 実証実験に関することについて
 福岡市総務企画局企画調整部 担当：藤本，八尋
 電話：092-711-4879 (内線 1219)
- 粗大ごみ収集・処理手数料支払いについて
 福岡市環境局循環型社会推進部収集管理課 担当：柿田，菊地
 電話：092-711-4299 (内線 2320)

◆使用方法

- ① LINE アカウント「福岡市粗大ごみ受付（LINE ID : @fukuokacity_sdg）」を友だち登録する。
- ② ご利用ガイドの「福岡市粗大ごみ収集の申し込み」より、収集を申し込みたい粗大ごみの品目と個数を指定する。
- ③ 収集先の住所、氏名、電話番号を入力する。
- ④ 収集希望日、搬出場所を選択し、申し込む。
- ⑤ 本受付のメッセージを確認し、同意事項に同意した後、粗大ごみ手数料をLINE Pay で支払う。

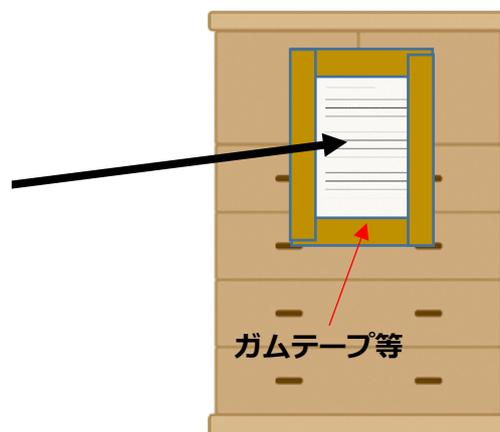


上記の QR コードからも友だち登録できます。

【留意事項】

- ※事前にモバイル送金・決済サービス『LINE Pay』への登録と残高のチャージが必要です。
- ※『LINE Pay』で手数料を支払った後は、申し込み内容の変更はできません。申し込みの取り消しはできますが、手数料の返金はできません。

- ⑥ A 4 サイズ程度の紙に必要事項（発行された受付番号・収集日・金額）を記入する。
- ⑦ 記入した紙を粗大ごみにガムテープ等でしっかり貼りつけ、収集日の午前 8 時 30 分までに選択した搬出場所に出して完了。



◆操作画面

